

2024年7月9日（火） 14：00～17：00

## 第20回小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会からの報告

国立成育医療研究センター 小児がん相談支援センター 鈴木 彩

### 小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会 設置要領

#### （設置）

第1条 小児がん拠点病院で実施されている相談支援体制機能の強化と向上を図ることを目的とする。また地域単位での取り組みを支援するため、小児がん拠点病院連絡協議会の下部機関として、相談支援部会（以下「部会」という。）を設置する。

#### （検討事項）

#### 第2条

部会は、次の各号に掲げる事項について、情報を共有・検討する。

- 一 地域単位、施設単位で行われている情報提供・相談支援の取り組みの現状把握と分析、情報共有に関する事
- 二 相談支援体制機能の強化と向上を果たす上で必要となる全国、地域単位の体制の整備
- 三 小児がん患者家族の支援に関連した施策・制度面の改善等を整理し、協議会を通じて発信できるような提言に向けた素案の作成

## 第20回 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会

日時：2024年5月31日（木）14:00～17:00

開催方法：オンライン（Zoomを使用）

出席者数：小児がん拠点病院 16施設（拠点病院15施設+中央機関2施設）36名  
その他 都道府県がん診療連携拠点病院 12名 厚生労働省 2名

議事

<第1部>

1. 造血幹細胞移植医療と関連する経済的支援

国立成育医療研究センター 小児がんセンター 坂口 大俊

2. 小児がん拠点病院 相談支援部門の活動

(1) 事前アンケートの報告

(2) 患者・家族の交流の場づくりに関する取り組み

(3) 小児がん連携病院等との連携体制整備に関する取り組み

<第2部>

3. 意見交換会

ブロックにおける連携病院との連携体制の整備について

4. 連絡事項

## 事前アンケートの実施

【目的】小児がん拠点病院の相談員の配置と介入方法についての現状を把握し、今後の相談支援体制整備の検討に役立てる

【対象】小児がん拠点病院の相談支援部会員

【方法】2024年4月16日～5月10日にWebにて回答を依頼した

【回答】15拠点病院（回答率：100%）

【結果の取り扱い】

本部会の資料として報告

本部会ワーキンググループの参考資料とする

# 事前アンケート内容

①相談支援センターの体制について、相談員の人数と職種を教えてください。  
専従（8割以上）、専任（8割未満5割以上）、その他（5割未満）

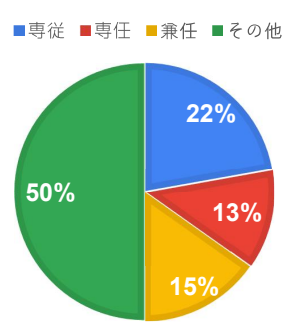
②「小児がん拠点病院等の整備に関する指針」のがん相談支援センター②にある相談員と他の診療従事者が協働できる体制について、協働できる職種をすべて教えてください。

③院内で小児がんと診断された患者に介入できる体制をどのように整備しているか教えてください。

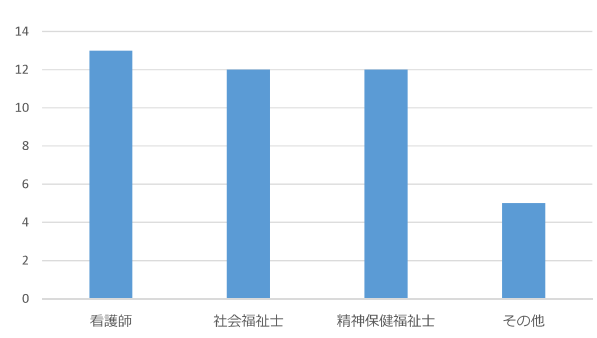
（例）毎週情報共有のカンファレンスがあり、新規患者に必ず介入している。医師から必ず依頼がくる体制がある、など）

④ ③に関して、困っていることがあれば教えてください。

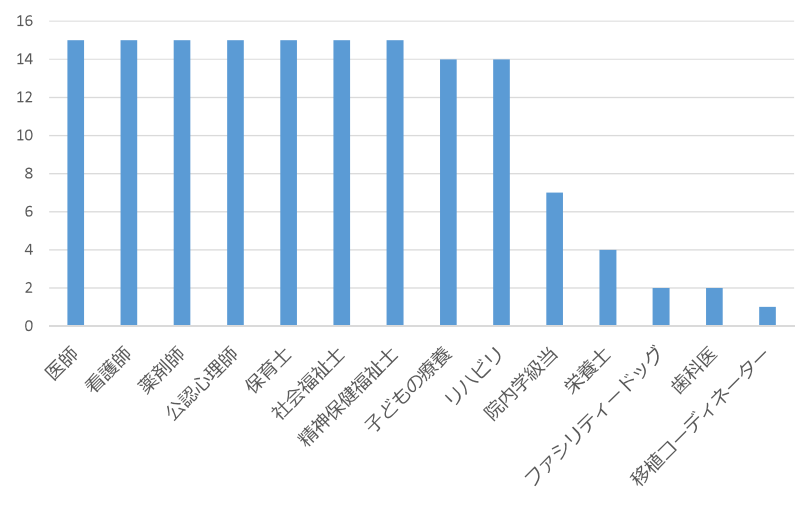
相談員の内訳（N=72）



相談員の職種



連携体制のある職種



## 院内での患者への介入の体制

- カンファレンスにて患者を把握し、介入している（13病院／15病院）
- 医師や病棟看護師から依頼が来る体制があり、介入している（9病院）
- 入院時にスクリーニングを行い、介入している（3病院）

### <困りごと・介入が難しいケース>

- ・家族の心理的状況、面会状況、相談員の業務状況によりすぐに入れない
- ・すぐに退院・転院してしまう、外来のみ、治験のみ、診断に時間がかかる、診療科により介入できていない
- ・入退院支援により、相談支援センターの相談員が入院のケースに入っていない

## 2024年度 相談員向け研修予定

### 相談員向け研修

小児がん相談員専門研修	2024年9月7日（土）	TKP品川カンファレンスセンター
小児がん拠点病院相談員継続研修	2024年10月ごろ	オンライン
小児がん拠点病院相談員 ブロック企画研修	2025年2月20（木）予定	会議室（品川）
小児がん相談員研修検討委員会	年2回程度	オンライン

# 2024年度 小児がん相談員専門研修 ファシリテーターのお願い

小児がん相談員専門研修は9月7日（土）に東京・品川にて開催いたします。当日午後からの演習にお手伝いいただけるファシリテーターを募集いたします。当日は現地にお越しいただく必要があります。

## <条件>

- ・これまでに小児がん相談員専門研修を受講していること
- ・小児がん拠点病院の相談支援センターの相談員であること  
(以前に相談支援センターの業務に携わっており、現在も小児がん拠点病院に勤務している方は可)

## 相談支援体制 課題検討WGについて

- WGの目的：小児がんの子どもと家族の療養生活を支援するために必要な小児がん相談員の役割及び、よりよい体制づくりの課題について検討する
- 検討事項：小児がん拠点病院等の整備指針などにおける小児がん相談員の役割および相談支援体制
- 活動回数：2-3回/年

### ※ワーキンググループ結成の背景

小児がん拠点病院は「小児がん拠点病院等の整備に関する指針」に基づき、子どもと家族のニーズに見合った医療や支援、療養支援体制を提供することが求められている。またがん対策基本法（平成18年法律第98号）に基づき策定されている「がん対策推進基本計画」を推進するため、小児がん拠点病院の相談員として相談支援体制を検討していく必要がある。

小児がん拠点病院の指定から10年が経過しており、現在の相談支援体制を評価し、必要と考えられる支援について検討することも必要である。ワーキンググループを設置し、相談支援部会においても継続的に課題に取り組み、必要に合わせて、次期の対策の見直しの際にも提案ができるよう、情報収集や整理をしておくことも必要である。

## 2024年度 相談支援体制 課題検討ワーキンググループ

丸山 喬史	北海道大学病院	医療技術部	ソーシャルワーカー
菱沼 美香	東北大学病院	診療技術部 ソーシャルワーク部門	ソーシャルワーカー
篠崎 咲子	埼玉県立小児医療センター	地域連携・相談支援センター	ソーシャルワーカー
加藤 由香	静岡県立こども病院	がん相談支援センター	看護師
山田 佳織	名古屋大学医学部附属病院	地域連携・患者相談センター	ソーシャルワーカー
川勝 和子	京都大学医学部附属病院	看護管理室	看護師
栗林 佑季	兵庫県立こども病院	外来・がん相談支援室	看護師
鈴木 彩	国立成育医療研究センター	小児がん相談支援センター	ソーシャルワーカー

## 2024年度 小児がん相談員研修検討委員会

三富 光輝	東京都立小児総合医療センター 心理福祉科
大倉 貴和	神奈川県立こども医療センター 小児がん相談支援室
井倉 千佳	三重大学医学部附属病院
中井 友理子	京都府立医科大学附属病院 がん相談支援センター
大濱 江美子	大阪市立総合医療センター 医療技術部
石井 美帆	広島大学病院
副嶋 綾子	九州大学病院 医療管理課
竹之内 直子	京都府立医科大学附属病院
田村 里子	一般社団法人WITH医療福祉実践研究所
菱ヶ江 恵子	山口県立大学 社会福祉学部

高橋 朋子	国立がん研究センター がん対策研究所 がん情報提供部
富澤 大輔	国立成育医療研究センター 小児がんセンター
鈴木 彩	国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター

## 相談支援部会開催後のアンケートより（一部のみ抜粋）

### <造血幹細胞移植と関連する経済的支援>

- ・移植について大変わかりやすく解説があり、勉強になった。
- ・経済的負担について、改めて知る内容もあり、家族に支援を届けたいといけなと感じた。
- ・資料を院内でも共有したい。録画を配信をしてほしい。
- ・今後の相談支援に活かせる内容でよかった。経済的な負担の具体的な話があり、大変参考になった。

### <事前アンケートの報告>

- ・他の拠点病院の体制について知ることができてよかった。どの拠点病院も同じような問題を抱えていることが分かった。
- ・入退院支援により、がん相談支援センターが入院ケースに入れていないという部分に共感した。
- ・ほとんどの病院が全例介入をしている（めざしている）ことに、小児がん拠点病院の質の高さがうかがえた。
- ・困りごとでは共通の思いを抱えていることがわかり、少しほっとした。

### <取り組みの報告>

- ・自施設でも参考にしてみたいことがあった。自施設では交流の場をなかなか作ることができずにいたので、非常に参考になった。
- ・各機関とも関係部署と連携し、患者・家族のために活動されており感動した。
- ・連携病院との連携について、今でもできることがあり、進めていきたいと思った。
- ・連携病院を訪問し、顔の見える関係づくりに真摯に向き合って労力をかけている活動が素晴らしいと思う。
- ・月1回拠点病院で会議をして相談員向けや患者・家族向けセミナーを計画されているのは素晴らしいと思った。
- ・ブロックごとの特色があり、課せられた課題が明確にされていた。

## 相談支援部会開催後のアンケートより（一部のみ抜粋）

### <意見交換>

- ・連携病院との連携はどの拠点病院も共通の課題なんだと改めて感じることができ、少し安心した。
- ・他施設の現状を知ることができ、参考になった。もう少し話し合う時間があればよかった。
- ・皆さん同じ困りごとを抱えていることが分かった。「組織の意識」を変えることの限界を感じながらも、皆さんが何とか前に進もうとされている気持ちを共有できた。
- ・今後の連携においてのヒントをいただいた。
- ・意見交換はいつもとても勉強になり、ありがたい。

### <今後話し合いたいテーマなど>

- ・治療にまつわるお金の話をまた聞きたい。
- ・今はない（あるいは一部の地域しか実施していない）ような制度や支援を考える
- ・交流サロンについて話し合いたい
- ・教育支援（特に高等学校）について、他施設・他ブロックの現状を聞きたい

### <今回の部会の内容について>

- ・具体的な取り組みを知ることができてよかった。
- ・講義や他相談員の方のご見解を聞ける機会が、非常に貴重な時間となっている。
- ・実用的な内容でとても興味深いものばかりだった。有意義な時間となった。
- ・オブザーバー出席でき、小児がん拠点病院との連携を図る良い機会となった。今後も引き続き参加の機会があるとよい。

第21回小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会

2024年11月29日（金） 14:00-17:00（予定）

オンライン開催